

年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取り組み）	成果と課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手に届く声で話したり、話し手に体を向けて聞いたりすることが、まだできていない。 鉛筆の正しい持ち方や適切な筆圧を身に付け、正しい筆順で字形を整えて書くことが十分ではない。 身近なことや経験したことを題材にし、文章を書くことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 提示している「声のものさし」や「聞くときの姿勢」を意識させ、場に応じた声の大きさや聞く姿勢ができるようにする。 年間を通じて、視聴覚教材を活用しながら視覚的に正しい鉛筆の持ち方の指導を継続することで、適切な筆圧で書けるようにする。また、家庭学習の際にも正しい鉛筆の持ち方、筆順、字形を確認させ、定着を図ることができるよう、家庭と連携する。 音読や読書を通じて正しい助詞の使い方を身に付けさせた上で、定期的に絵日記に取り組みさせることで短い文を正しく書けるようにする。その際、文章を読み返す活動を取り入れることで、自ら間違いに気付き、直すことを習慣付ける。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 計算の仕方を理解し、正確に計算することが、まだ難しい。 文章題の題意を的確につかみ、正しく立式したり、複数の方法で表現したりする力が十分とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックを操作しながら10の合成・分解を繰り返し練習することで、10のまとまりを捉えさせる。また、視聴覚教材を活用したり、図に描き表したりすることで計算の仕方を視覚的に捉えさせ、計算力の向上を図る。 数の関係を図・式・言葉で表せるようにするために、電子黒板等を活用し、互いの考えを共有することで様々な表現や処理の方法を学ぶ機会を設ける。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に興味をもち、成長し、変化していく不思議さに気付いたり、自然の物を使って工夫して遊んだりする経験が不足している。 活動や体験を言葉や絵で表現することが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさ、形、色などの視点を設けて観察や活動をさせることで、自然への気付きを深め、科学的な見方や考え方の基礎を養う。また、工夫した点を紹介しあうことで、遊びを創造する力を伸ばす。 複数の児童の観察カード等を電子黒板で提示したり、気付いたことを発表したりすることを通して、様々な表現の仕方に触れ、ヒントを得ながら、自らの表現の幅を広げられるようにする。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 友達と関わりながら、音楽活動を楽しみ、気持ちを高めていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの音を聞きながら一緒に体を動かしたり、体全体で拍を感じ取ったりする活動を通して、音楽活動を楽しめるようにする。また、友達の表現の良いところを見付け、言葉で伝え合えるよう、話型を示し、交流を促す。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> 描いたり作ったりすることを楽しみながら、活動する意欲を更に高めていくこと。 基本的な道具（のり・はさみ・クレパス）の正しい使い方を全員に身に付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味・関心に応じた題材を選ぶ。また、導入時に材料に触れる簡単な操作を取り入れることで、創造力をかき立て、活動への意欲を引き出す。 道具の使い方が身に付く課題を用意し、繰り返し練習することで基礎的な技能の習熟を図る。 	

体育	<ul style="list-style-type: none">・楽しみながら体を動かすことで、様々な運動の特性に応じた技能を十分に身に付けさせていくこと。・自ら学習を振り返り、課題から簡単な次のめあてを立てられるようにすること。	<ul style="list-style-type: none">・かけっこ、鉄棒、ボール投げ等、それぞれの運動特性を踏まえた運動遊びを繰り返し行うことで、様々な動きに慣れ、自分の体を思うように動かせるようにする。また、スモールステップで学習計画を立てたり、ICT機器を活用して自分の動きを確認させたりすることで、効果的に技能を身に付けられるようにする。・学習カード等を活用し、「めあて→取り組み→振り返り」という学習サイクルを作る。	
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--